

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ニプロ健康イノベーションパーク	階数	地上7F
建設地	大阪府摂津市千里丘新町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,120 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年9月9日
敷地面積	15,840 m ²	作成者	広瀬 良太
建築面積	3,652 m ²	確認日	2021年9月10日
延床面積	23,771 m ²	確認者	前垣 篤志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地面積25%以上の緑地を確保、かつ敷地中央の東西貫通道路や南西角の街角広場など地域にも開かれた自然と親しむ環境を形成。BCP対応として、制振プレースの設置・耐震性1.25倍の確保。近隣河川の浸水想定レベルを考慮した1FLや重要機器の基礎高さ設定。自発、熱源機器の設置。1~4階は階高6.5m確保、広大なフロアプレートにより冗長性、フレキシビリティを確保。	その他 特になし。
Q1 室内環境	吸音材の採用やF☆☆☆☆の採用により室内環境の向上に配慮。	Q2 サービス性能 ゆとりのある階高、天井高、リフレッシュスペースの計画等により建物利用者の快適性向上に配慮。耐震性への配慮、耐用年数の長い材料の使用等により建物の耐用性に配慮。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内緑化に努め室外環境に配慮。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量削減に配慮。
LR1 エネルギー	高効率設備を採用し省エネルギーに配慮。	LR2 資源・マテリアル 雨水貯留槽を水源とした雨水利用設備を計画し、1~3階の共用トイレについては再利用水を使用することで、地球環境に配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0059

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)ニプロ健都イノベーションパーク施設新築工事						
	建設地	大阪府摂津市千里丘新町						
	用途/区分	事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.6	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.7	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							